

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	01	03	0409	幼児ことばの教室事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-1	子育て環境の充実		
	施策	3	就学前教育の充実		
目的	ことばの表現能力に課題のある子どもの支援				
対象	ことばに関する課題のある就学前のこども				
意図	正しい発音ができる等、子供が持っている能力を十分に発揮出来るようにする。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	<b>【平成26年度事業実施内容】</b> ○対象幼児及び保護者への指導 ○保護者からの相談への対応 ○「幼児ことばの教室」の周知 （案内リーフレットの作成と配布、保護者対象説明会の実施）				
市民参画の有無	〔対象外〕				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① ことばの指導実施幼児数	人	計画	90	90	90
		実績	80	72	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 指導終了幼児の割合	%	目標	85.0	85.0	85.0
		実績	83.0	86.0	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成22年度より指導員3名体制で幼児ことばの教室を開始し、ことばに課題のある年長児を対象に指導を行っている。 年中児を対象としたことばの検査での早期発見、年長児の指導対象の精査や、保護者、保育園、幼稚園からの協力をいただきながら継続的指導を行うことができた。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	ことばは、その後の教育を進める上で重要な要素であるが、公立、市立の保育園、幼稚園の体制での対応は難しいことから、公共的に市全域を対象として進める事により、より効果的な事業効果が期待出来る。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	毎年、様々なことばの問題を抱えた子ども達への対応は、今後も継続されるべきものであるが、事業継続により、今後も成果が期待出来るが、現在、1人当たりの時間の制限があり、その部分を解消出来る体制が構築されれば、更なる効果が期待出来る。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	適切な指導を実施するうえで必要最低限の経費である。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	全年長児童を対象に検査希望を案内しており、受益機会は公平である。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
ことばに課題がある子どもを早期に発見し、正しい発音や子どもが持っている能力を発揮するようにするため、一人ひとりに応じた指導を実施したことにより、幼児の正しい発音・発語が改善され、言語表現力が向上した。また、指導の継続が必要な園児については、小学校の「ことばの教室」に、これまでの指導内容を円滑に引き継ぎを行なった。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	01	03	0409	幼児ことばの教室事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,922	6,926		4
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,922	6,926		4

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

子どもたちの健やかな成長を育む就学前教育の充実と家庭の教育力の向上

事業開始の背景・経緯

ことばの表現能力に課題のある子どもに対して、早期発見、一人ひとりに応じた指導実施により、子どもが持っている能力を十分に発揮できるような支援が求められていた。

事業概要

【平成26年度事業実施内容】

- 対象幼児及び保護者への指導
- 保護者からの相談への対応
- 「幼児ことばの教室」の周知  
(案内リーフレットの作成と配布、保護者対象説明会の実施)

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

小学校の養護教諭：ことばに課題のある子どもへの対応は、早期のきめ細かな対応により、より効果上がる傾向があるとの意見があった。

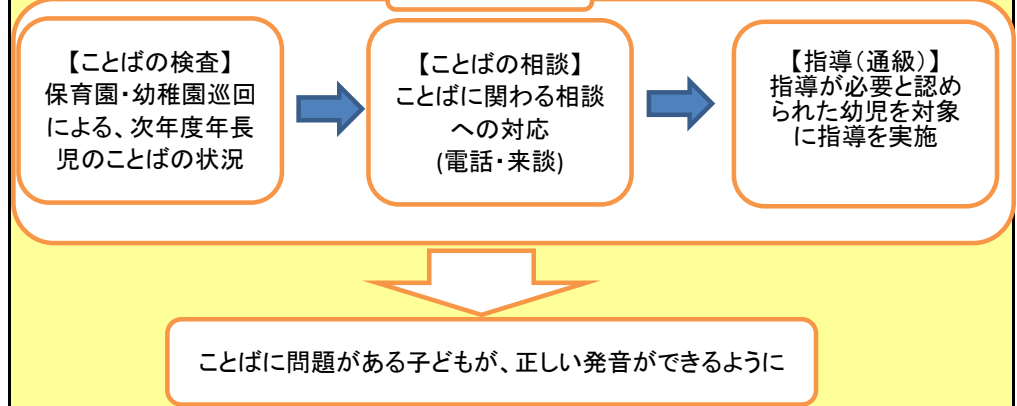
担当部署 部名 教育部 課名 こども課 担当係長 牛崎 充人 内線 9-30-342

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業手法の詳細】

指導員の活動



【平成26年度事業費の内訳】

- 事業費合計 6,926千円  
内容) 幼児ことばの教室の実施
- 事業内容
 

教室指導員賃金(3名)	5,410
教室指導員社会保険料等(3名)	775
指導員言語研修費用弁償	9
教室運営事務費、教材、燃料費等	376
通信運搬費	44
自動車リース代	312